

文部科学・厚生労働両省から

遺児友好参加者が講話者へ

遺児友好（参加者に対し、本事業への協力依頼を行い、新たに4人の遺児が仲間に加わった。

荒堀修一アドバイザー（青年部長）の尽力を得て実施している。また近隣支部青年部より和歌山県

厚生労働省と総務省で
人事異動が行われた。

【厚生労働省】
▼援護担当審議官

厚労省
総務省
人

次世代（戦没者の姪、孫）が語る講話 6月11日、

くなつた父の辞世の句を
 披露。
 ・大森正美氏（遺児）
 府監事。高槻市文部長。

○7年度からの協力者
・津村正義氏（遺児）
府理事、松原市遺族会
会長。松原市での戦中戦

に慰霊碑調査。地元教育委員会での勤務を活かし、慰霊碑から伝える戦没者、地域の歴史、慰霊

駒を諍詰 未結駒ながら
協力したいと意気込み。
○その他協力者
・尾縄伊孝氏 よしたか
長年政方市貴族会と共

話。戦後の母の労苦、父の戦没地比島での慰霊体

謹んでお見舞い申し上げます

一般財団法人

日本遺族会

厚労省
総務省
人事異動

労働省と総務省で
動が行われた。
【方勵倉】

三好 圭氏
▼援護企画課長
高鹿 秀明氏
▼事業課戦没者遺骨鑑定
担当審議官

▼援護・業務課長
野村 知司氏
生末 明宏氏
(8月4日付)

推進室長
左藤 倫子氏
(8月1日付)

ミャンマーでの慰霊、学
校での交流を話す貴見

による講話見学も予定し、新たな講話者の育成、発掘を重ね、講話内容の充実を図る。

○講話予定者
・愛智良子氏
吹田市女性部長。7年
度より協力。

遺族会青年部長。加西市の戦中の児童のくらし、加西市鶉野飛行場から飛び立った特攻隊員の遺書

・荒堀修一氏（孫）
本会平和の語り部ブロッ
クアドバイザー、兵庫県

庫県内の学校講話に協力。
沖縄・長崎など修学

声なき声

「監督の『東京物語』は世界的に最も評価の高い日本映画のひとつで

弔う日であつてもらいた
い。(S)

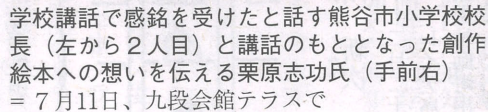
本会事務局では、8月1日付けで辞令交付を發令した。
(敬称略)

▼語り部事業本部・福祉事業部 部長 栗田和彦

第17回定期講話会

家族の記憶から考える記憶継承

7月11日の第17回定期講話会テーマは「家族の記憶」。次世代が継承する方途について高知県青年部の遺児の記憶聞き取りから朗読劇への発展、戦地



からの手紙動画制作等の取組み、体験者の取組みとして金沢市遺族友の会の絵本制作が紹介された。

金沢市遺族連合会柴田勝弘会長は戦時中空襲被害がなかった石川県だが、県内から出征し亡くなった多くの戦没者や、遺族等の戦後の労苦を伝え、平和について考えてほしいとする制作意図を説明。喫緊の課題は次世代の育成。今年度市役員の半数を次世代へ組織改編。金沢市内10校で講話

を予定。講話には次世代が同行、育成を図り次年度からは次世代も講話に加わる予定と意気込みを話した。

次に次世代の講話。栗原志功埼玉県遺族連合会青年部副部長は祖母の記憶から伝える講話。幼稚園の送迎。祖母は自転車で急こう配の坂道を前に「こんなくらいなんだー」と大きな掛け声で漕ぎ続けた。社会に出て困難にぶつかる度、祖母の力強い言葉を思い出し乗

だ様子は「星川に火が付いた」と言われたという。266人が死亡、負傷者3000人、市街地の3分の2が焼失。玉音放送に「あと1日終戦が早かったら」と落胆。しかし人々は懸命に働き熊谷は復興した。焼け跡に咲いた花は生き残った人が亡くなった人の思いを背負い育てた希望だと語り、「焼け跡に咲いた奇跡の花」とする創作歌を熱唱。戦争で家族を失った遺族として伝えたい。知識も重

平和の語り部
多様な形態 全国で

要だが「伝えたい」気持ち、感情に訴えようと語った。

座談会では、先月に続き次世代が記憶を継承する方途について話し合い、「家族から聞く」（次世代、「母からは聞けなかった。話したくないほどの記憶」（体験者）、「戦争の史実に加え、感情を

伝えることも大切。伝える側に立つ心構え。軍靴の音を待ちわびて、お腹の中で父の記憶がない、想像もつかない(次世代)などの意見があった。

8月も「家族」をテーマに次世代による遺骨収集の講話を予定。次々回は、9月12日予定。

永井隆博士の故郷として平和都市宣言をしており、同市はかねてより雲南市遺族会の精力的な活動を理解し後押し。市遺族会は平和活動として「平和の語り部」を約15年前から実施。市内全ての小学

われている。
島根県遺族連合会は先進事例として同市追悼式県連企画を昭和100年記念事業とし、同日は県内各地から役員、会員が参集。雲南市の取組みを研修した。

○岡山県7月17日
靖国神社みたままつり

へ伝える語り部、追悼式
国内外の慰霊碑の維持管
理、遺骨収集等、国とし
て取組む決意を語った。

その後、昭和館を視察
し、児童・生徒に伝える内
容を研修し帰途に着いた。

講話＝7月
で協テラス
多会館



モンゴルで移設・埋設

海外民間慰靈碑移設等事業

日本遺族会は、厚生労働省に埋設した。

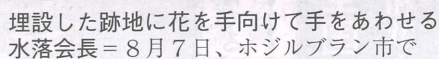
勸省から委託を受けて実施している「海外民間建立慰靈碑移設等事業」をモンゴルにおいて7月5日から10日にかけて行った。

6日 日本政府が建立した慰靈碑の維持管理を担うモンゴル赤十字社を表敬訪問し、ボロルマー事務局長と面会した。協議では、対象慰靈碑

しまう現状について意見交換し、政府慰霊碑敷地内の資料館隣に移設することで合意した。

一方、ホジルブラン市の慰霊碑は、かつて抑留死亡者の埋葬地に建立さ

的となっている現状を「遺族として忍びない」と述べ、役割を終えた慰霊碑を丁寧に埋設したいとの意向を伝えた。これに対し、テルムーン少佐は「私たちが逆の立場で



長は慰靈碑跡地に花を手向けた。遺族の心情を理解し、迅速な対応をしたモンゴル軍に対し感謝を伝えた。

本会への

賛助金のお礼

本会の活動に賛同し、賛助金を寄せていただいた下記の方々に対し、心よりお礼申し上げます。
 なお、賛同者の都道府県名については、送金方法により居住地が特定できない場合があります。省略します。

木実、秀平良子、酒井治利、楠本武、平野敏雄、キクチアキオ、オオニシミヨジ、ヤマダヨウイチ（以上、7月1日から7月28日現在）

皆様からいただいた賛助金は、本会が実施している英霊顕彰、戦没者遺

日本遺族会への賛助金のお願い

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族援護、慰霊友好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。

●郵便振替 00130121694929

●みずほ銀行 九段支店 普通預金 09800930

※□座名は…一般財団法人日本遺族会Ⅱザイニホンイソクカイ

ミヤジマ
修繕募金
お礼とお願い

日本遺族会がミャンマーの現地に寄贈した小学校3校の老朽化が進んでいることから、その修繕費用を集めるために開設した「ミャンマー小学校修繕募金」にご賛同いただいた左記の方に心よりお礼申し上げます。

賛同者名（敬称略）
ツネカワトシオ（7月
1日から7月28日現在）
本会は引き続き現地の
情報収集に努め、渡航に
ついて安全が確認され次
第、小学校の修繕に取り
掛かることにしている。

事業部講話
学校講話

生徒発信型
新たな形態
東京・北区立桐ヶ丘中学校で

戦没者遺族の記憶と地域の歴史を伝える遺族会の語り部は、全国から依頼を受け実施している。学校からの要望に沿った内容となるよう各支部は創意工夫を重ねている。この程、3年間の平和学習の総まとめとして、生徒進行による発表、質疑に講話を加えた新たな形態が実施された。遺族会の語り部の更なる可能性を示す取組みを紹介したい。

7月7日、都内北区立桐ヶ丘中学校3年生で語り部を実施した。当初よりクラスを2つに分け、4組全8グループに講話者総勢9人を派遣。生徒による進行、発表に講話、園等を視察。港灣都市と

感無量

陸軍兵長 小川 新次

昭和十九年十二月二十二日
フィリピン・レイテ島ブラウエンにて戦死
静岡県庵原郡袖師町出身 三十三歳

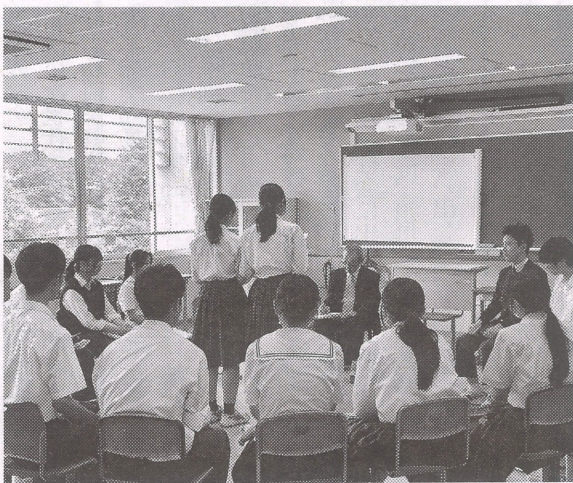
九月五日午前二時十分警門出発
午前二時三十分発車
元氣にて大陸の北支(大同ヨリ)包頭に行く。
留守中何分子供を大切に氣をつけて呉れ。
母上父上様に呉れ、も宜しくお傳へ下さい。
お前も身体を氣を付けて、俺の帰りを待つて辛抱して呉れ。
此れから先、涼しさ加はる折、十分と呉れ、も頼む。
書き度事澤山あれど感無量。
兄さん、姉さん、妹達によろしく傳へ下さい。
皆々様の御健康を御祈り申し上げます。
静岡駅より博多・朝鮮・満洲・張家口・大同包頭
大同と包頭に二班に分れる予定

新次より

千代子江

【令和八年八月靖国神社社頭掲示】

愛しきものへ



生徒代表による3年間の平和学習のまとめに聞き
入る講話者=7月7日、北区桐ヶ丘中学校で

の国民の暮らしを学ぶ。
3年生では5月に広島へ
修学旅行。平和学習の総
まとめとして、7月本

業を利用。
生徒の進行で全員の自
己紹介、グループ代表、
3班に分けた発表、語り
部を聴講後、一問一答の
質疑。発表は3年間の学
びについて。戦争の犠牲
の上的平和、次世代への
継承が写真や資料を用い
て分かりやすく説明。

語り部全国での取組
和歌山、富山、広島県

令和8年度も全国各地
の学校で講話が実施され
ている。6月から7月(夏
期休暇前まで)は土日を
除き、連日講話が実施さ
れていた。各地の様子の
一端をお伝えしたい。



最大規模となる約1300人の生徒に戦争の
悲惨さ、平和の尊さを訴える
=7月18日、広島市内で

県横田智江氏、宍倉操氏。
ご飯が食べられる「当
り前」ではない。「平和
を願うだけ」でなく、口
に出して訴える。「バシ
海峽の船の墓場と知っ
た」「平和を守り続ける
ために私達は学び、考え

九段短歌

作品を
お寄せ
ください。

選者 村田 信昌

山形県 菊地 幸子

東京都 黒岩 しま

千葉県 齋藤 康代

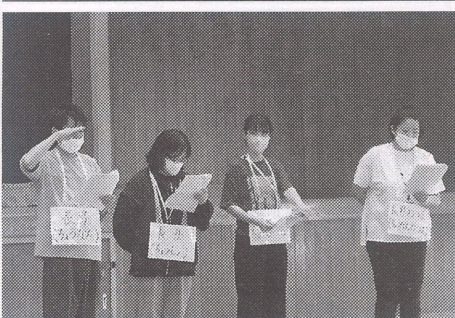
富山県 酒井 映子

兵庫県 池田喜代子

海ゆかは流るる町の追悼式平和の誓い六百四十七柱
サラモアの地名は生涯忘れえず父は帰らず眠りし地な
れば
最後のなる洋上慰霊に参加して戦争の歴史新たに学ぶ
八十路の身好きに人生送ったが戦死の父に会いたかつ
たなあ
人の世に征きて帰えらぬ父思ふ語りたきことすべもな
く

「元氣です」ただ一行の葉書にて父の覚悟の見える
れしと
長崎県 安原 恭子

年々暑さが厳しく感じられるのは年齢のせいでは
うか。皆様方には酷暑の折柄も御身体ご自愛下さ
いませ。さて、今月の九段短歌には新しいお顔触れの
出品者が数多く大変嬉しい限りでございました。
九段短歌はお歌の巧拙もさることながら、同じ思い
を皆様で共有する事にこそ意義があるものと感じてお
ります。今後も振るってご出稿をお待ち致しております。
(選者)



学校の教職員による朗読劇の上演
=7月7日、和歌山市内で



初めて依頼を受け小学校での語り部
講話を実施=7月13日、富山市内で

伝え、行動していくべき。
これまで双方向、多方
向型を目指してきたが生
徒発信型の形態は大きな
学びの機会となった。今
後も学校の要望に応えら
れるよう努力を重ねたい。

初めてだったことを受
け、野井和重青年部長を
中心に準備。学校での打
合せを前に近隣支部の学
校講話を視察し、内容を
研究。結果、低学年児童
にも理解できるように朗
読劇「出征兵士を見送る
家族の物語」、兵庫県荒
掘修一アドバイザー実施
の加西市デジタル紙芝居
「机のない教室」(戦中戦
後の児童のくらし)、和
歌山市の戦中・戦後の話
質疑応答の4部構成とな
った。中でも朗読劇は、
児童に興味を持ってほし
いと教員に参加を依頼
し、8人に協力した。当
日は野井部長、長坂
隆司青年部員(県議)の
二人で対応。新たな挑戦
は大きな評価を得た。

〇7月13日富山県
富山市立四方小学校で
の講話。当県では富山空
襲の語り部活動が活発で
ある。他方、原爆投下を受け
た県であり特に広島市に
おいて平和学習は被爆者
団体への依頼がほとんど
であったが、今回初めて
依頼を受けた。
そこで広島市遺族会増
川計会長(県副会長)が
これまで組織向けに語っ
てきた戦中戦後のくら
し、父への思いを生徒向
けに再構成し、実施に向
け、増川会長、榎谷敏治
事務局局長は学校で打合
せを重ねた。
講話は3階建てのホー
ルで実施され冒頭、校長
先生より体験者の生の証
言が聞ける貴重な機会へ
の謝辞が述べられた。
増川会長は講話のはじ
めに遺族会、慰霊碑のい
われを伝え、「原爆に加
え召集により旧戦域で戦
没された方々がいること
を知ってほしい。大人だ
けでなく、子供も否応な
く巻き込まれる戦争を絶
対に起こしてはいけな
い」と力を込めた。
当日は市遺族会より多
数応援に駆け付け、講話
後は、各々自身の体験を
語り、学校講話に向けた
準備に取組もうと話し合
われた。

〇7月18日広島県
広島高校全校生徒13
00人への講話。本年1
月の依頼以降、過去最大
規模となることから広島
県遺族会と慎重な協議を
続けてきた。当県は平成
27年特別慰金支給法の
附帯決議を受け、戦没者
記録事業として同年から
令和元年度まで「戦没者
を語る会」を開催し講師
80人の動画を収録してい
る先進県である。

〇7月18日広島県
広島高校全校生徒13
00人への講話。本年1
月の依頼以降、過去最大
規模となることから広島
県遺族会と慎重な協議を
続けてきた。当県は平成
27年特別慰金支給法の
附帯決議を受け、戦没者
記録事業として同年から
令和元年度まで「戦没者
を語る会」を開催し講師
80人の動画を収録してい
る先進県である。